

APPLICATION PROCEDURES FOR FOREIGN
STUDENT ADMISSION TO THE GRADUATE SCHOOL,
MASTER'S PROGRAM OF ENGINEERING 2009

2009年度

大分大学大学院工学研究科
博士前期課程

学 生 募 集 要 項
(第 2 次)

外国人留学生特別選抜

APPLICATION PERIOD : JAN.19 (MON.) THROUGH JAN.23(FRI.), 2009

出願期間：平成21年1月19日(月) ～ 1月23日(金)

EXAMINATION DATE : FEB.4 (WED.) AND FEB.5 (THU.), 2009

試験期日：平成21年2月4日(水) ～ 2月5日(木)

ANNOUNCEMENT OF RESULTS : FEB.13 (FRI.), 2009

合格者発表：平成21年2月13日(金)

2008年12月

OITA UNIVERSITY

大 分 大 学

目 次

○ 大分大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー	1
○ 外国人留学生特別選抜	
日本語	
1. 募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 出願手続	5
4. 障がいのある者等の事前相談について	6
5. 選抜方法	6
6. 試験科目, 期日及び場所	6
7. 合格者発表	7
8. 入学手続	7
9. 注意事項	7
English	
1. Departments, Courses and the Number to be Admitted	8
2. Qualifications for Candidates	9
3. Application Procedures	10
4. Prior Arrangements with the Students with Disabilities	11
5. Screening	11
6. Examination Subjects, Date and Place	12
7. Announcement of Results	14
8. Entrance Procedures	14
9. Notes	14
○ 出願様式等	
入学志願書, 履歴書	
受験票, 検査場案内図	
入学検定料払込証明書 (大学提出用) 貼付欄	
払込取扱票	
合格通知用住所シール	
受験票返送用封筒	
出願用封筒	

大分大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー

基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

教育・研究の目標

学生の立場にたった教育体制のもとで、自らの課題を探求する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆめぎない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することです。

求める学生像

工学研究科博士前期課程では、環境や社会に対する影響も予見しながら自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、先進的科学技術によって人類福祉に貢献する意欲をもち将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

1. 工学の分野に強い関心があり、深い専門知識と高度の技術を身につけることをめざしている人
2. 新しい課題を自ら見いだす着想力をもち、問題の解決に際しては計画的に調査や研究を行うことのできる強い意志をもっている人
3. 国際的な視野を有し、国際的に通用する能力や技術の獲得をめざしている人
4. 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

特に、各専攻では、次のような人を求めています。

〈機械・エネルギーシステム工学専攻〉

本専攻は、機械に関する基礎技術と利用技術、メカトロニクス、ロボティクスなどの制御の分野、新エネルギー、エネルギーの有効利用に関する技術開発および利用技術に重点を置く、機械工学・電気工学の総合的な教育と研究を行います。

以上のような教育理念に基づき、本専攻では次のような人を求めています。

1. 数学及び物理に関する基礎学力を備え、国語及び英語に関する基礎的な語学力も有し、自分の意見を論理的に説明できる人
2. 自ら問題を見だし、計画的にその解決をめざすことができるリーダーシップと行動力をもっている人
3. ものづくりに興味があり、そのために必要な深い専門知識を身につけて創造的な技術者や研究者となることをめざし、それによって人のために役立ちたいという強い意志をもっている人
4. 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

〈電気電子工学専攻〉

本専攻は、電気、電子、情報、通信等に代表される電気電子工学の広範な分野の中で、社会や環境に対する影響も予見しながら、人類の幸福・福祉に役立つ技術とは何かを積極的に考え、技術の発展や学問の進展に貢献することのできる人材の育成を目的にしています。

以上のような観点から、本専攻は次のような人を求めます。

1. 学部での基礎・専門科目の内容をよく理解して、最先端レベルでの電気電子工学の専門科目を学ぶために十分な能力をもっている人

2. 様々な学問分野に関心があり、その基礎や応用について自ら学び理解しようという知的好奇心をもっている人
3. 柔軟な着想力を持ち、何事にも積極的にチャレンジする行動力をもっている人

〈知能情報システム工学専攻〉

情報は現代の人間社会を構成する最も重要な要素であり、これを取り扱う技術が社会を左右することは既に明白な事実となっています。このような社会において、より高度で知的なIT（情報技術）の開発、普及が社会を発展させる源になると考えられます。

本専攻では、人の知を拡大する新世代知的IT革命の担い手となる国際的技術者・研究者を育てるという教育理念に基づき、次のような人を求めます。

1. 基礎から応用までの先端的な情報技術について学習と研究に取り組むことができる基礎的な能力と旺盛な知的好奇心をもっている人
2. 高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人
3. 豊かな感性と表現力・コミュニケーション能力を持ち、高度情報化社会の牽引者となることを志している人

〈応用化学専攻〉

私達が将来にわたって地球上で共存し幸福に暮らしていくためには、エネルギー・情報・環境に関して生じてくる複雑な問題を科学的に解決していかなければなりません。化学は物質の存在形態と変化の本質を明らかにしようとする学問ですから、種々の課題の解決における化学の知識と技術の重要性は、新しく形を変えつつますます大きくなってきています。

本専攻は、私達の生産活動、毎日の生活や自然現象を化学的な立場から自ら進んで考え、化学技術によって人類福祉に貢献することのできる技術者、研究者の養成を目標にしています。

応用化学専攻の教職員は、一生懸命自分を高めようと頑張る学生諸君を力いっぱい支援します。

以上の観点から、本専攻では次のような人を求めています。

1. 自然界や人間社会、産業社会のさまざまな状況について高い問題意識を持ち、化学的観点から解決しようとする意欲をもっている人
2. 化学的現象について興味を持ち、工学的立場から解明しようとする意欲をもっている人
3. 化学、物理、数学などについて専門分野を学ぶために必要となる基礎学力をもっている人
4. 英語、国語の基礎的語学能力をもとに、与えられた課題について論理的かつ柔軟な発想で考察し、発表することができる人
5. 化学に関連する各種専門分野について、高度な知識や能力を身に付け、技術者・研究者として活躍する強い意志をもっている人

〈建設工学専攻〉

本専攻は持続可能（サステイナブル）な生活環境を構想し、これを維持・発展させながら、より安全で安心して暮らせる社会を、建築学の立場から構築して行くことを目標としており、以下のような高い意欲と強い情熱を持つ人を求めています。

1. 建築学を構成するそれぞれの専門分野に応じた立場から社会に貢献するため、先端の知識を理解し、高度な技術力を修得しようとする人
2. 建築の技術・機能・社会性・経済性・芸術性を包括的に把握し、総合的な視点から意思伝達のできる能力を高めようとする人
3. 専門知識を研究課題設定に応用し、研究遂行において生じる問題点を克服する解決能力を身につけ、得られた知見を論理的に記述・伝達する能力を養おうとする人

〈福祉環境工学専攻〉

本専攻はすべての人が幸福を感じられる高度福祉社会を、工学的側面から実現するための研究開発と人材養成を行うことを理念にしています。本専攻ではこのような目標に向かって努力できる人を求めています。

・建築コース

住環境向上の側面から高度な福祉社会実現を構想し、安全で安心して暮らせる社会を具現化して行くことを目標としており、以下のような高い意欲と強い情熱を持つ人を求めています。

1. 福祉環境構築のためのそれぞれの専門分野から社会に貢献するため、先端の知識を理解し、高度な技術力を修得しようとする人
2. 生活環境向上のための工学技術を社会性・経済性・芸術性などから包括的に把握し、総合的な視点から意思伝達のできる能力を高めようとする人
3. 専門知識を研究課題設定に応用し、研究遂行において生じる問題点を克服する解決能力を身につけ、得られた知見を論理的に記述・伝達する能力を養おうとする人

・メカトロニクスコース

メカトロニクスとは、電気電子工学、機械工学、制御工学、情報工学等の基盤技術を統合して扱う工学です。本コースでは、すべての人々にとって生活の質の高い社会を実現するための工学を「福祉工学」と位置づけ、その実現のためにメカトロニクス技術を利用することを考えています。このような技術による装置は、今まで人しかできなかった作業を可能にしたり、機能の障がいを持った人を支援したりすることに役立てられます。

本コースでは、メカトロニクス技術を通じて社会のニーズに貢献する高度な技術者・研究者の育成を目標とし、次のような人材を求めています。

1. 研究・開発能力を培うのに必要な電気・電子工学又は機械・制御工学を主とした専門基礎学力を有する人
2. 自ら課題を見つけだし、その解決に意欲を有し、研究に主体的に取り組む人
3. 人の生活の質の向上を目指す「福祉工学」分野の研究や技術開発を通して、社会に貢献したい人
4. 機械工学・電気電子工学・生体工学・人間工学などの幅広い分野を含めた、「福祉」を目的とした、学際的工学分野に興味がある人

入学者選抜の基本方針

本研究科では、前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜のほか特別選抜（社会人、外国人留学生）を実施し、学生を選考します。

・一般選抜（口述型・筆記型）

口述型選抜では、学部での成績が極めて優秀である者が、あるいは、志望する専門分野に関する十分な基礎能力を持つ者として出身大学等により推薦された者に対して、専門基礎学力に関する口述試験による学力検査及び出願書類審査を総合して判定します。

筆記型選抜では、入学者の選抜は、学力検査（筆記試験及び面接試験）及び出身大学等の成績証明書を総合して判定します。

・社会人特別選抜

各種の研究機関、企業又は教育機関等で活躍している社会人の研修の継続あるいは自己再教育の場として本学大学院工学研究科博士前期課程を開放し、併せて、生涯教育に寄与することを目的としています。入学者の選抜は、書類審査及び面接の結果を総合して判定します。

・外国人留学生特別選抜

入学者の選抜は、学力試験、面接試験及び書類等を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜募集要項

1. 募集人員

専攻	コース	講座	募集人員
機械・エネルギーシステム工学専攻	機械	機械システム	若干名
	エネルギー	熱事象学, エネルギー変換システム工学	
電気電子工学専攻	電気	制御コミュニケーション, 電磁ダイナミクス	若干名
	電子	電子デバイス工学, 電子情報システム工学	
知能情報システム工学専攻		情報科学基礎, 計算機システム, 知能システム	若干名
応用化学専攻		工業化学基礎, 応用生物化学, 機能物質化学	若干名
建設工学専攻		環境計画, 構造設計	若干名
福祉環境工学専攻	建築	人間環境工学	若干名
	メカトロニクス	人間基礎工学, 人間システム工学	

2. 出願資格

日本国籍を有しないで、次の要件を満たす者

- (1) 日本語が理解できる者
- (2) 次のいずれかに該当する者
 - (a) 外国において、学校教育における12年の課程を修了し、日本の大学を卒業した者及び2009年3月までに卒業見込みの者
 - (b) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2009年3月までに修了見込みの者
 - (c) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2009年3月までに修了見込みの者
 - (d) 外国において、学校教育における12年の課程を修了し、本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの
 - (e) 本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

注1. (d) については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるとしたものです。これにより出願する者は、2008年12月18日(木)までにあらかじめ学生支援部入試課に照会してください。

注2. (e) に該当する者については、出願前に入学資格の確認をする必要があるため、2008年12月18日(木)までに学生支援部入試課に照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

2009年1月19日(月)から1月23日(金)(土、日を除く)
9時～17時

郵送の場合は、1月23日(金)必着とします。

(2) 出願書類等

下記の提出書類を、日本語又は英語で作成してください。

書類名	備考
入学志願書 受験票 履歴書 合格通知用住所シール	本学所定の用紙
卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	最終出身学校の学校長が作成したもの。
成績証明書	最終出身学校の学校長が作成したもの。
返信用封筒 (受験票返送用)	本人の郵便番号・住所・氏名を明記し、350円分の切手を貼った本学所定の封筒1枚。出願書類を持参する場合は不要。 (注1)
入学検定料払込証明書 (30,000円) (注2)	以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。 ①郵便局・その他の金融機関での払込 本学所定の振込用紙を用い、郵便局・その他の金融機関窓口で振込手続を行ってください。 ②コンビニエンスストア(一部)での払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ (携帯版は http://daigakuje.jp/u.php?u=00041)から払込専用ホームページへアクセスするか、もしくは直接下記URLにアクセスし、指示に従い払込手続を行ってください。 (払込専用URL) http://www.oita-u.net/ (携帯電話用URL) http://www.oita-u.net/mobile/ 振込み後は、①の場合は郵便振替払込受付証明書(大学提出用)を、②の場合は収納証明書(コンビニによっては領収書)を、受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。 手数料は本人負担です。

(注1) 受信場所が外国の場合は、国際返信切手券3枚を同封してください。

(注2) 国費留学生(日本政府から奨学金を支給されている者)は、検定料を免除します。

(3) 出願方法

入学志願者は、必要書類等を一括し、所定の期間内に提出してください。郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

(4) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課

(5) 受験票の交付

提出書類を受理したときは、受験票を送付します。

4. 障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、2008年12月18日（木）までに、下記の事項を記載して（様式任意）、医師の診断書を添え本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・就学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

5. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験、面接試験及び書類等を総合して行います。

6. 試験科目、期日及び場所

(1) 学力試験及び面接試験

試験科目		外 国 語	専 門 科 目		面 接
専攻	期日 時間	2月4日(水)10時～	2月4日(水)13時～	2月5日(木)10時～	
機械・エネルギーシステム工学専攻	機 械	日 本 語 英 語	熱力学, 流体力学	機械力学, 材料力学	2月5日(木) 学力検査終了後に行います。
	エネルギー		材料力学, 熱力学, 流体力学, 電磁気学, 電気回路, 電気機器の中から3科目選択	工業数学	
電気電子工学専攻	電 気 電 子		電磁気学 電気回路	電気電子数学 電子回路	
応用化学専攻			無機化学, 有機化学, 分析化学, 生物化学, 物理化学, 化学工学, 高分子化学 (7科目の中から4科目選択)		2月5日(木) 15時00分～
建設工学専攻			建築構造学, 建築材料学, 建築環境工学, 建築計画・都市計画の中から1科目選択		
福祉環境工学専攻	建 築		木質構造学, 建築音響学, 建築計画学の中から1科目選択		
	メカトロニクス		バイオメカニクス, 機械工学, 電気工学の中から1科目選択		

(注1) 機械・エネルギーシステム工学専攻及び応用化学専攻の専門科目、福祉環境工学専攻メカトロニクスコースの専門科目のうち機械工学と電気工学については関数機能を持つ電卓の持込が可能です。ただし、プログラムが組める電卓は不可です。

(注2) 応用化学専攻の外国語については「英和辞書」、「母国語－英語辞書」、「母国語－日本語辞書」の3冊の持込が可能です。

(注3) 建設工学専攻、福祉環境工学専攻の外国語については、辞書（電子辞書を含む）の持込が可能です。

試験科目 期日 時間	専 門 科 目	専 門 科 目	外 国 語	面 接
専攻	2月4日(水)10時～	2月4日(水)13時～	2月4日(水) 14時50分～	
知能情報システム 工学専攻	情報工学(計算機工学, 情報回路, 言論理論, アルゴリズム論, データベース論, 数理計画論, 多変量解析の7分野の中から4分野を選択) (注1)科目名は情報工学です。 (注2)解答する4分野を志願書に下記の要領で記入して下さい。 記載例: ①情報工学(計算機工学) ... ④情報工学(アルゴリズム論) 出願後の受験分野の変更はできません。	情報数学	日 本 語 英 語	2月5日(木) 10時00分～

(2) 検査場

大分大学工学部

検査場及び検査場への道順は、受験票裏面の案内図を参照してください。

7. 合格者発表

2009年2月13日(金)10時

大分大学教養教育棟(第一大講義室)前掲示板に掲示するとともに、合格者には別途通知します。

また、本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)にも合格者受験番号を掲載します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

8. 入学手続

(1) 提出書類

合格者は、保証書を含む入学手続書類、入学料、授業料等を提出してください。(詳細は、合格通知とともに送付する「入学案内」により準備してください。)

(2) 納付金

1. 入 学 料 282,000円

2. 授 業 料 年額 535,800円(前期分 267,900円 後期分 267,900円)

3. 入学料・授業料については、免除・徴収猶予の制度があります。申請手続きは入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので、詳細については学生支援課奨学支援グループ(TEL097-554-7386)へ問い合わせてください。

4. 入学料と授業料は改定の可能性があります。

5. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

6. 国費外国人留学生については、納付する必要はありません。

9. 注意事項

(1) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除(猶予)及び奨学金を申請した者については、選考資料として利用します。

(2) 出願手続後の出願書類の記載変更は認めません。

(3) 納付した検定料は、いかなる理由があっても還付しません。

(4) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

(5) 最初に受験する科目の試験開始時刻の15分前までに各検査室に入室してください。

1. Departments, Courses and the Number to be Admitted:

Departments	Courses	Specialities	Number to be Admitted
Mechanical and Energy Systems Engineering	Mechanical Course	Machine Systems	a small number of candidates
	Energy Course	Thermal Science and Engineering; Energy Conversion Systems Engineering	
Electrical and Electronic Engineering	Electrical Course	Control Communication; Electromagnetic Dynamics	a small number of candidates
	Electronic Course	Electronic Device Engineering; Electronic Systems and Wave Applications	
Computer Science and Intelligent Systems		Basic Information Science; Computer Systems; Intelligent Systems	a small number of candidates
Applied Chemistry		Basic Engineering Chemistry; Applied Biochemistry; Functional Materials Chemistry	a small number of candidates
Architectural Engineering		Environmental Planning; Structural Design	a small number of candidates
Architecture and Mechatronics	Architectural Course	Human Environmental Engineering	a small number of candidates
	Mechatronics Course	Fundamental Human Engineering; Human System Engineering	

2. Qualifications for Candidates:

Candidates must have non-Japanese nationality and meet the following requirements:

- (1) Adequate proficiency in Japanese.
- (2) One of (a), (b), (c), (d) and (e) below:
 - (a) Completion of 12 years of school education in countries other than Japan and graduation, or expected graduation in March, 2009 from a college or university in Japan.
 - (b) Candidates who have fulfilled the requirements of 16 years school curriculum of a foreign country by taking a correspondence course of that country in Japan, or who expect to have done so by the end of March 2009.
 - (c) Completion of 16 years of school education or the equivalent in countries other than Japan, or expected completion in March, 2009.
 - (d) Candidates must have completed 12 years of school education in countries other than Japan and must be at least 22 years of age. Furthermore, they must have reached academic standards equivalent to those of college or university graduates.
 - (e) Judgment by the Graduate School of Oita University to have equivalent academic standards to those of college or university graduates.

Notes:

1. In case of (d), the entrance prerequisites for the Graduate School of Oita University have been partially amended owing to the introduction of the new requirements for application: Graduates of 22 or over from Japanese institutes for higher education - junior colleges, technical colleges, senshū gakkō (professional schools), kakushu gakkō (vocational schools) and so forth - will be eligible to apply to graduates schools on condition that they meet the application requirements.

All inquiries should be addressed to the Entrance Examination Division, Oita University by Dec. 18, 2008.

2. In case of (e), inquiries must be made to the Entrance Examination Division, Oita University, about your qualification for being a candidate beforehand by Dec. 18, 2008.

3. Application Procedures:

(1) Application Period


Application forms must be submitted to the Admissions Office during the following period:
 Jan. 19, (Mon.) through Jan. 23, (Fri.), 2009

Mon. through Fri. 9:00 a.m. - 5:00 p.m.

To be received by Jan. 23 (Fri.) in case of mailing.

(2) Application Documents

The following documents written in either Japanese or English should be submitted:

Application for Admisson Identification for Examination Personal History Address Seal for Notices of Acceptance	Fill in the prescribed forms.
Graduation Certificate	Official transcript from the college/ university attended
Certified Academic Record	Official transcript from the college/ university attended
Self-Addressed, Stamped Envelope (to be used to send a candidate's identification card)	Write down your name, address and postcode (zip code) clearly and stick 350 yen's worth of stamps on the prescribed envelope. See Note 1.
The university's copy of receipt for postal transfer payment (30,000 yen) See Note 2.	There are two ways of paying the entrance examination fee into the account designated by the university: (1)One way is to pay the requisite fee into the account at post offices or other financial institutions by using the prescribed payment slips; (2)The other is to pay it at one of the appointed convenience stores. Access the following URL's directly and follow the directions: (a) (URL for PC) http://www.oita-u.net/ (b) (URL for mobile phone) http://www.oita-u.net/mobile/  Stick the receipt for transfer payment on the space allotted below the candidate's identification card. Each candidate has to pay a fixed commission fee as well.

Note 1. Candidates who will receive the return envelope abroad have to enclose three international coupons for return postage.

Note 2. Foreign students supported by a scholarship from the Japanese Government are exempt from the application fee.

(3) Application

All the required documents are to be submitted within a given period of time.

When posting them, every candidate has to use the prescribed envelope and send it by registered special delivery.

(4) Admissions Office Address

Entrance Examination Division, Oita University

700 Dannoharu, Oita 870-1192, Japan (TEL 097-554-7519)

(5) Delivery of Identification for Examination

On receipt of the required documents, the Identification for Examination and receipt will be mailed to the applicant.

4. Prior Arrangement with Physically Handicapped Students or Other Students with Disabilities:

Special consideration will, if possible, be given to the candidates with difficulties in sitting for the entrance examination and in attending lectures at the university. The persons in question ought to submit a medical certificate (in Japanese or English)* as regards the following (a),

(b), (c) and (d) to the Entrance Examination Division, Oita university by Dec. 18, 2008:

- (a) type of disability and handicap level;
- (b) special support needed to sit for the entrance examination;
- (c) special support needed to attend lectures at the university;
- (d) obstacles in daily life and other problems.

*The form is not fixed.

5. Screening:

The screening for admission will be made on the basis of the results of the examination, the interview, and the submitted documents.

6. Examination Subjects, Date and Place:

(1) Examination and Interview

Departments	Courses	Exam Subjects	Foreign Languages	Major Subjects		Interview
		Date & Time	Feb. 4, (wed.) 10 a.m. ~	Feb. 4 (Wed.) 1 p.m. ~	Feb. 5 (Thu.) 10 a.m. ~	
Mechanical and Energy Systems Engineering	Mechanical		Japanese and English	Thermodynamics; Fluid Engineering	Dynamics of Machinery; Strength of Materials	Feb. 5 (Thu.) After the Exam
	Energy			Strength of Materials; Thermodynamics; Fluid Engineering; Electromagnetics; Electric Circuits; Electrical Machinery (Select three subjects from the above.)	Engineering Mathematics	
Electrical and Electronic Engineering	Electrical		Japanese and English	Electromagnetics; Electric Circuits	Mathematics for Electrical and Electronic Engineering; Electronic Circuits	
	Electronic					
Applied Chemistry				Inorganic Chemistry; Organic Chemistry; Physical Chemistry; (Select four subjects from the above.)	Analytical Chemistry; Biochemistry; Chemical Engineering; Polymer Chemistry	
Architectural Engineering				Structural Engineering; Building Materials; Architectural Environmental Engineering; Architectural Planning & City Planning (Select one subject from the above.)		
Architecture and Mechatronics	Architectural		Japanese and English	Timber Engineering in Architecture; Architectural Acoustics; Architectural Planning (Select one subject from the above.)		Feb. 5 (Thu.) 3 p.m. ~
	Mechatronics			Biomechanics; Mechanical Engineering; Electrical Engineering; (Select one subject from the above.)		

Note 1) The candidates who do not take compulsory examination subjects are regarded as disqualified.

Note 2) As regards examinations in 'major subjects' for the Department of Mechanical and Energy Systems Engineering and for the Department of Applied Chemistry, examinees are allowed to use an electronic calculator which has simple function capabilities but does not have programming capabilities. Persons taking examinations in 'mechanical engineering' and in 'electrical engineering' for the Mechatronics Course are also allowed to use such an electronic calculator as is mentioned above.

Note 3) As regards exams in foreign languages for the Applied Chemistry Department, examinees are allowed to use the following three types of dictionaries at the same time : <1> English-Japanese, <2> Native Language-English, and <3> Native Language-Japanese ones.

Note 4) As regards exams in foreign languages for the Architectural Engineering Department and for the Architecture and Mechatronics Department, examinees are allowed to use dictionaries (including electronic ones).

Exam Subjects		Major Subjects	Major Subjects	Foreign Languages	Interview
Date & Time		Feb. 4 (Wed.) 10 a.m. ~	Feb. 4 (Wed.) 1 p.m. ~	Feb. 4 (wed.) 2:50 p.m. ~	Feb. 5 (Thu.) 10 a.m. ~
Departments	Courses				
Computer Science and Intelligent Systems		<p>Computer and Information Science (Select four out of the following seven fields: Computer Architecture, Logic Circuits, Automata and Formal Languages, Computer Algorithms, Database Systems, Mathematical Programming, Multivariate Analysis)</p> <p>Note1: The subject name of the examination is Computer and Information Science.</p> <p>Note2: Applicants must specify four fields on the application form. Write the subject name and field with parentheses: For example,</p> <p>①Computer and Information Science (Computer Architecture), ...</p> <p>④Computer and Information Science (Computer Algorithms).</p> <p>The selected fields at the submission of the application form must not be altered.</p>	Mathematics for Computer Science	Japanese and English	Interview

(2) Place of Examination

Faculty of Engineering, Oita University

(See the guide map on the back of Identification for Exam.)

7. Announcement of Results:

Date of Announcement: Feb. 13 (Fri.), 2009 (10:00 a.m.)

The results of screening will be posted on the notice board to the Liberal-Arts Education Building on the campus and will be mailed to each one of the candidates.

The results will also be announced on the university's home page (<http://www.oita-u.ac.jp/>); however, telephone inquiries about them will not be responded to.

8. Entrance Procedures:

(1) Documents to Be Submitted

Each of the successful candidates is required to submit several documents including a written guarantee, and to pay an admission fee, tuition, etc. (For further details, see the "Admission Guidance Pamphlet" enclosed with an acceptance letter.)

(2) Payment of Fees

1. Admission fee ¥282,000.

2. Tuition ¥535,800 annually.

(¥267,900 for the first semester ;

¥267,900 for the second semester.)

3. Established is a system for exempting from or postponing the admission fee and the tuitions. For particulars, apply to the student-supporting department at the university (Tel. 097-554-7386).

4. There is a possibility that the admission fee and the tuitions might be revised.

5. If tuition is revised during the period of student's attendance at the graduate school, the newly revised tuition is to be applied to the students at the beginning of the next academic year.

6. Foreign students supported by a scholarship from the Japanese Government are exempt from the admission fee and the tuition.

9. Notes:

(1) In accordance with the Act for Protection of Personal Data Held by Administrative Organs and with the Oita University's Policy on Protection of Personal Data, the personal data written in the submitted documents will be used only as materials for entrance examination affairs including a screening of candidates for scholarships and for exemption from the admission fee (or for postponement of payment of them) .

(2) Candidates are not to rewrite the contents of submitted documents after completing entrance procedures.

(3) The entrance examination fee is not refundable in any case.

(4) If false descriptions are found out in the submitted documents, admission to the university will be revoked at any time.

(5) Candidates are to enter their respective examination rooms at least 15 minutes before their first examination starts.